

# 平成 30 年度 第 5 回番組審議会

## 議 事 録

株式会社エフエム戸塚

横浜市戸塚区川上町 91 番地 1

平成 31 年 1 月 30 日

## 平成 30 年度 第 5 回番組審議会 議事録

- 日 時 : 平成 31 年 1 月 30 日 (木) 13:30~14:30
  - 場 所 : 株式会社エフエム戸塚 会議室
  - 出席者 : 番組審議会委員 3 名 (1 名レポートで参加)  
金子富康、齊藤真美奈、齋藤進治、  
(欠席: 井上弘毅、岩崎高広)
  - 事務局 : 顧問・紺野望、局長・市川靖典 増田一輝
  - 議事録 : 番組審議会事務局作成
- 

### ■議題

1. 番組 : 12 月 12 日 (水) 収録放送番組  
「おはよう咲くらじお！」に関するご意見について  
(放送時間 平日 7:00~8:55、パーソナリティ : G A B U)
2. 放送番組全般に関するご意見・ご感想について
3. その他ご意見ご感想について

### ■議事

1. 番組 : 12 月 12 日 (水) 「おはよう咲くらじお！」に関するご意見  
～番組の説明～

この番組は毎週、月曜日から金曜日にかけて、各曜日担当のパーソナリティが午前 7 時から午前 8 時 53 分まで、「さわやかな音楽と共にとれたての情報を」をコンセプトに地域の情報や今日一日役に立つ話題をお届けしています。水曜日のパーソナリティは G A B U (ガブ) です。

—各審議会委員からの意見は次の通り。

審議会委員 (A)

- ・まず初めに声のトーンが良く心地良く聴き入る事が出来た。間の取り方がうまく、要所でオチが付き、「フッ」と笑える内容が多く面白く聴けた。特に年末の紅白歌合戦を話題にしていた時、実は「我が家にはテレビがないんです」と絶妙なトーク展開をしていた。
- ・番組の中の名物「給食コーナー」は“G A B U さん”というパーソナリティからはイメージがつかないコーナーであったが、そのギャップに笑える内容であった。その上でメニューの紹介だけでなく、ひとひねり入れるともっと良いと思った。
- ・番組後半の「クロストーク」について FM 湘南ナパサとの中継トークに関しては「テーマ」が分かりづらく、無理に話題を広げるように会話をしていた。また、横浜全体のイベントを紹介していたが、戸塚区や栄区、泉区のイベント情報はないのか、と感じた。このコーナーのテーマ設定や趣旨に違和感を覚えた。

・「今年中に言っておきたいこと」がテーマであった。リスナーからの親知らずの話題を上手に展開し、聴いていて気持ち良かった。これらのコーナーとニュースやお知らせのコーナーとのスムーズさに差が見られる部分も多くあった。

#### 審議委員（B）

- ・ニュースを読上げる時、テンポが速く知りたい情報を取得しづらい気がした。生放送でニュース原稿をスラスラ読むのは難しいと思うが、もう少し自身の言葉で伝えてもらえると思いたい情報が入ってくると感じる。
- ・パーソナリティ独特のハワイアンテイストの音楽を中心とした放送はそれなりに良かったが、1曲が長く感じてしまった。また、この時間帯の放送が、主婦や通勤・通学途中の人をターゲットとした放送であるならば、このような内容はお昼頃、もしくは午後向けの方が合っている気がした。テンポや話し方などとても優しく語り掛ける放送のため、時間帯によって聴く人の意見が分かれると思った。

#### 審議委員（C）（当日欠席のため、書面にて意見が寄せられた）

- ・とても聴きやすい声で、はっきりとした言葉尻、テンポの良いBGM、リスナーのお便りに対して先が広がる様な誘い掛けがある話し方であった。
- ・「優しい語り口が心地よい」とのリスナーの声の通りだと感じた。また音楽中心の番組進行でドライバーが聴いていても安心して運転できると思う。
- ・聴き終えた後も余韻が残った2時間であった。心地よい声に語り掛けられ、「メッセージはなんだっただろう」と自然にパーソナリティと対話するリスナーに自分自身がなっていた。
- ・番組の初めの方で、ニュースを読み上げる際、「これどうかな？ 後ほど触れてみたいです」と添えていた。以前の審議会でもお話ししましたが、この一言で「自分はどうか考えるのかな？」とパーソナリティとの対話が始まる様に思います。これらの事を含め充実したうれしい2時間であった。

#### —各審議委員からの意見に対し、事務局からの回答は以下の通り。

- ・朝の帯番組のリスナーのターゲットはどこにしているのか、との意見を頂戴した。やはり朝の情報番組として、主なターゲットは主婦層や通勤、通学をする方々である。この番組に限らず放送では、パーソナリティがそれぞれのカラーを出そうとしているが、それがひとりよがりな放送になってしまうことがある。リスナーがどうか考えるのか、また感じるのか、常に念頭に置きつつ放送していくことが大事。企画を見直すなど、力を入れていく必要がある。
- ・ニュース原稿は放送の下読み（準備）は当たり前で、リスナーに情報を伝えるためには、最低限、情報をはっきりと伝える必要がある。ニュースの下読みをしていないと、つまったり、聴き取りづらいテンポで読むことがある。朝の帯番組として、どの様なリズムで話すのがよいか、再度見直していく必要がある。せっかくパーソナリティの声のクオリティーが高いのに、情報系の話のリズムが悪かったりしてしまうと、もったいないと感じる。

- ・「テーマ」に対するメッセージの締め切りは、パーソナリティやスタジオにいるスタッフが目を通し精査を行っているため、いただいてから読み上げるまでの時間が20分ほどかかる事もある。また、コーナーや情報を挟んで放送する時は、それ以上に時間がかかる。常に放送時間を見極めながら、メッセージ募集の呼びかけの時間を考えて放送しなければいけない。メッセージに限らずリクエスト楽曲なども、曲を探さなければいけないため、後半になるにつれ紹介できなくなる可能性も高くなる。

## 2. 放送番組全般に関するご意見・ご感想について及び、3. その他ご意見ご感想について

### 審議委員（A）

- ・災害時のマスコミ対応や情報関係の対策は、訓練が必要と感じる。
- ・上記に付随する行政との災害時の連携についてはどうなっているのか。

### 審議委員（B）

- ・4月に番組改編が行われるが大きな改編はあるのか。
- ・局員の入れ替えが多いと感じる。同時に人員が多ければ、実現可能な業務も多くなり、コミュニティラジオ局としての可能性が見えてくると思う。

### —各審議委員からの意見に対し、事務局からの回答は以下の通り。

- ・緊急時の放送用情報は行政と組み、区役所から情報を発信するスペースを確保している。広報課ないし災害対策本部からの情報は「情報の一本化」が必要であり、これらの準備や対策、伝え方について連携を取っている各行政（戸塚区、栄区、泉区）と打ち合わせが必要。  
新潟・三条燕市で死者の出る大きな水害があった時、コミュニティ放送を通して市長が自ら市民の非難を呼びかけて大きな成果があった事例がある。情報が錯綜せずに「一本化」ができたという話もある。
- ・今年の4月番組編成について、大きな変更は無い方向で改編作業を行う。BGMの変更など番組の中身の雰囲気を変える事により新たな気持ちで4月を迎えられるよう各パーソナリティに伝え、現在調整を行っている。
- ・局員の定着化は、コミュニティFM局の大きな課題であるが、FM戸塚も例に漏れない。地域の皆様のご支援のもと、働きやすい環境づくりを検討していきたい。放送局はスタッフの経験が大きな財産になる。地域密着というコミュニティFM局は、長いお付き合いのなかで信頼を得る事が大切である。今後当局も地域ラジオ本来のあり方を人事編成に活かし、10周年以降、早急に整える事に努めていきたい。

### ■審議会は、次回の日程を確認し終了した。

次回開催日：平成31年3月14日（木） 13:00～14:00